

令和5年度 専門職大学院法務研究科（法科大学院）（E 日程）

## 小論文（未修者）

### 注意事項

以下をよく読んで、間違いないように受験してください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開かないでください。
2. この問題冊子の3~7ページに問題が掲載されています。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
3. 解答用紙は（そのI）・（そのII）の合計2枚です。解答用紙の追加は認めません。
4. 試験開始の合図があったら、すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
5. 解答は必ず解答用紙の所定の場所に記入してください。
6. 解答用紙には、黒鉛筆（シャープペンシル可）の他、黒または青の万年筆・ボールペンを使用してもかまいません。
7. 文字ははっきり、ていねいに書いてください。解答の文字が読みにくい場合、点を与えないことがあります。
8. 試験中、使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

[このページは空白です。]

## 小論文（配点 100 点）

次の文章は、高橋昌一郎『哲学ディベート＜倫理＞を＜論理＞する』に掲載されている、さまざまな学部の学生と大学教授の発言から抜粋したものである。これを読んで、下記の設問に答えなさい。

### 文学部 A

どうすれば「命の尊厳」を若者や、とくに子供たちに教えることができるのでしょうか？ 調べてみると、今度は別の意味でビックリするような授業が行われていることがわかりました。それは、福岡県のある県立高校の一年生を対象に実施されている「命の授業」です。

この高校の生徒は、自分で鶏卵からヒヨコを誕生させ、名前をつけてニワトリになるまで愛情をもって育て、最終的に自ら解体して食べるというのです。その目的は、「命の喪失」を具体的に体験することによって、「命の尊厳」を実感することにあるそうです。

（中略）

一方、この高校と同じ形式の「命の授業」は、秋田県のある町立小学校でも実施されていました。ところが、こちらは二〇〇一年一一月、解体日直前に取り止めになりました。解体を嫌がった生徒の保護者が教育委員会に連絡し、教育長が校長に中止を命じたためです。

（中略）

私が問題提起したいのは、高校生ならばまだしも、小学生に「命の授業」を行う意義はあるのか、ということです。

### 法学部 B

（中略）

Aさんの発表でも触れられていましたが、最近の子供たちを見ていると、「命の尊厳」について感覚が麻痺し始めているのではないかと思います。スーパーマーケットでは、肉や魚もパックになって販売されているため、人間が「命」を奪って肉を切り取っていることさえ認識していない子供もいるようです。肉を見てもそれがどのような動物のものか知らなかつたり、魚が切り身のままで海を泳いでいると思っている小学生もいるそうですからね……。

数年前、小学校六年生の女子生徒が、ネットの掲示板に悪口を書かれたことに腹を立て、同級生の女子生徒を昼休みに学習室に呼び出して、背後からカッターナイフで頸動脈を切って殺した事件がありました。加害者の少女は、普段は被害者の少女と仲もよかつたのに、この日は最初から殺害を決意して呼び出し、一言も口を開かずに平然と切り付けたそうです。

なぜ彼女は、人間の命をあれほど軽く扱うことができたのでしょうか？僕は、もし加害者の少女が事前に「命の授業」を受けていたら、そして、自分が育てたニワトリを殺して食べることによって、二度と戻ってこない「命の尊厳」を実感していたら、あのような惨劇は起こさなかつたのではないかと思います。

Aさんの発表にあった秋田県の小学校では、実際には中止になったわけですが、小学校の授業を教育長が中止させるというのも、横暴だと思います。（中略）

このとき教育長は、「嫌がっている子供もいるのだから、実施を強行するべきではない」という論法で中止を命じていますが、小学校には、たとえ子供が嫌がっても実施されているプログラムがたくさんあるですから、彼の命令は間違っていると思います。そのような論法では、もし嫌がる生徒がいたら、掃除も運動会もマラソン大会も中止することになりますから……。せっかく小学生たちがヒヨコからニワトリにまで育てていたのですから、きちんと「命の授業」を実施すれば、大きな教育的効果をあげることができたと思います。ぜひ最後まで遂行してほしかったのに、残念ですね。

#### 理学部 D

僕も、基本的に「命の授業」に賛成ですね。小学生には少し早いような気もしましたが、よく考えてみると、逆に最近のキレイやすい小学生にこそ、「命の尊厳」を実感させるべきだと考えます。

僕の実家はすごく田舎で、小学校低学年のときの担任は、定年間近のおじいさん先生でした。この先生は、天気がいいと「探検に行くぞ」と言って、僕らをいろいろな所に連れて行ってくれるんです。皆で田んぼにいたイナゴを捕まえて佃煮にしたり、山モモを拾い集めてジャムを作ってくれたりしました。田舎では、自然の恵みを食べるということが、生活に根付いているんです。

近所では、イノシシが血抜きのために木に吊るされていましたし、農家にはニワトリが何羽も駆け回っていて、卵を産めなくなったら、当然のように首を絞めて食べていました。新鮮なニワトリのレバーや砂肝は、本当に美味しいですよ！

そのような生活のなかで、「命」の重さを自然に実感していたと思います。

しかし、都会の子供たちには、田舎の子供たちのように生き物や自然と直接触れ合う機会がありません。周囲にあるのはゲームやロボットのような人工物ばかりで、主人公が死んでもリセットすれば簡単に再生すると錯覚してしまう……。ですから、本物の生き物の生死を通して学ぶ「命の授業」は、子供たちにとっても忘がたい体験になるのではないか?

(中略)

### 経済学部 C

私は、Aさんの発表を聞いて、本当に驚愕しました。小学生に、自分で名前をつけてニワトリをかわいがって育てさせ、それを自分の手で解体させて食べさせるなんて、私にはとても信じられません! 特に感受性の強い子供にとっては、まるで拷問ではないでしょうか。残酷すぎます! 大人でもニワトリを自分の手で殺すという行為は衝撃が大きすぎて、トラウマを抱える可能性も高いと思います。

私が小学生の頃、家族でレストランに行って鳥の唐揚を食べたことがあるんですが、偶然妹の皿に取り分けた唐揚に十分火が通っていなくて、妹がフォークを突き刺した瞬間に、ビュッと血が噴き出たことがあります。妹は、そこにショックを受けて気持ちが悪くなり、今でも鶏肉を食べられません。唐揚だけでもそんなことになるんですから、「命の授業」を受けたら、もっと大きなトラウマを抱える小学生も必ず出てくるはずです。

### 医学部 E

僕も「命の授業」そのものが、行きすぎた、短絡的な大人の道徳感の一方的な押し付けだと思います。とくに義務教育の小学校や中学校では、生徒は授業を選ぶことができません。「総合学習」の授業にしても、国語や算数と同じように、全員が必修で受けなければならぬのです。したがって、このように過激な授業は許されるべきではないと思います。

今 Cさんから子供たちのトラウマになるのではないかという意見が出ましたが、僕は、それ以上に、この授業が一種の起爆剤になって、逆に生き物の命を軽視して、殺したり虐待したりすることに快感を覚える子供が出てくるのではないかと心配になります。つまり、小学生にナイフを与えて、生殺与奪の権限を与

えること自体が、問題ではないかと思うわけです。

僕自身は、小学校でそのような授業を受けたことはありませんが、祖父母や祖母や親戚の死、ペットとして飼っていた犬の死、あるいは、小説や映画の登場人物の死によって、十分に命の尊さを理解してきたつもりです。その理解に基づいて、少しでも人々の生命を救うことができればと希望をもって、医学部に進学したくらいですから……。

もし子供たちに命の尊厳を教えることが目的であれば、「命の授業」でなくとも、他にいくらでも方法があるはずです。単に、それまで生きていた生き物が殺されて肉になるということを教えるだけならば、養鶏場や養豚場に子供たちを社会科見学で連れて行って、鳥や豚が食肉に加工されていく工程を見せるのも一つの手段だと思います。

僕が何よりも心配なのは、「命の授業」のように明白な「死」の感触を与えるければ、他者の痛みに共感できなくなり始めている子供たちの想像力の欠如ですね……。

(中略)

### 教授

実は、日本で最初にこのような形態の授業を行ったのは、小学校教諭の鳥山敏子氏です…。

なぜ彼女はこんな課外授業を行ったのか？ 鳥山教諭は、次のように述べています…。

「自分の手ではっきりと他のいのちを奪い、それを口にしたことがないということが、本当のいのちの尊さをわかりにくくしているのだ。殺されていくものが、どんな苦しみ方をしているのか、あるいは、どんなにあっさりとそのいのちを投げだすか、それを体験すること。ここから自分のいのち、人のいのち、生きもののいのちの尊さに気づかせてみよう」

鳥山教諭は、子供たちが自分の「ペット」は大切にする一方で、他人の殺した生き物を平気で食べていること、さらに食べきれないからといって平気で食べ物を捨てていること、それを簡単に許容している大人に対して、これを不平等ではないかと問いかけているわけです。

1. 「命の授業」を小学生に行うか意義はあるか否かについて、それぞれの見解の根拠としてどのようなものが考えられるか。この文章から読み取れるものを分かりやすく説明してください。なお、解答は解答用紙（そのⅠ）に行うこと。

(配点 50 点)

2. あなたは、「命の授業」を小学生に行うことに賛成か反対か。この文章の趣旨を生かしつつ、自身の見解を可能な限り説得的に述べてください。なお、解答は解答用紙（そのⅡ）に行うこと。

(配点 50 点)

[このページは空白です。]